

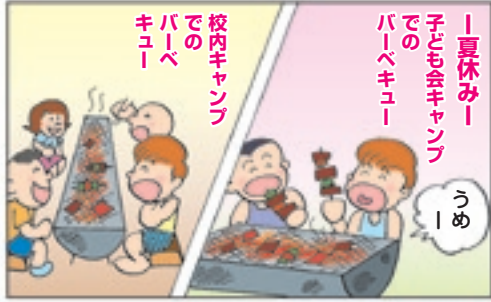
新ガッツだ おまかせくん!

小学校編



作 ロナウジーニョ太郎

No.17



くにさきの文化財

安岐町「木造阿弥陀如来立像」

県指定有形文化財

安岐町糸永の瑠璃光寺に伝わる平安仏です。平安時代(十〜十一世紀前半)の作と考えられ、櫃(かや)材による一木造で像高一五六・五cmあります。国東半島の平安仏では、豊後高田市内野区の聖観音菩薩像に次ぐ古さです。この像の特徴である小ぶりの目鼻・唇を顔の中央に寄せた愛らしい独特の表情は、後世の国東半島の仏に受け継がれていきます。

安岐町史によると、「この仏像は本来、薬師如来であったが、手や足が破損し、後補の際に手印を誤って今は阿弥陀如来になっている。」と記述があります。



表紙の説明

夏本番となった7月25日(水)、田深天満社(国東町)夏祭り行事として、お練り保存会(会長・福田正巳田深区長)による「お練り」が盛大に開催され、地元や見物に訪れた市民の皆さんから、暑さを吹き飛ばすような声援が送られました。



編集後記

◆7月17日に、職場体験で広報公聴係に訪れた武蔵中学校の3人娘。市役所の中でも取材先でも「よろしくお願ひします」「ありがとございませう」と大きな声での元気なあいさつに、学生時代を思い出すとともにすがすがしい気持ちになりました。◆今回の職場体験を通しての取材の中で、安岐町の大熊良一さんの「農業をしていると楽しみがたくさんあって、生活を楽しくしています。国東市内には、いろいろな考えを持ち、それぞれの分野で頑張っている人が多くいます。ぜひ市報で取り上げて欲しい。」との話や、国見町農業公社での前田課長の農業後継者や自然環境等、農業を取り巻くさまざまな問題について、中学生の3人と一緒に話を聞く中で、市役所の役割、広報の役割について、私自身考えさせられることが多くありました。今後の市報づくりを生かしたいと思えます。(田川)